コード	0214

組立説明書

商品名　タウン

■この度はお買い上げ下さいまして誠に有難うございます。
■正しく組立を行っていただくため必ず本書を読み、よく理解して下さい。
■製品の品質は、万全をつくして生産していますが、万が一問題が有りましたらお買い上げの販売店へご連絡下さい。

exterior_stok

目次

■組立前に必要な準備 …… 2
■基本寸法 …… 2
■組立上の注意 …… 3
■梱包明細表 …… 3・4
■梱包組合せ表 …… 4
■各部名称 …… 4
■組立 …… 5～7
■詳細図・形材表 …… 8

組立前に必要な準備

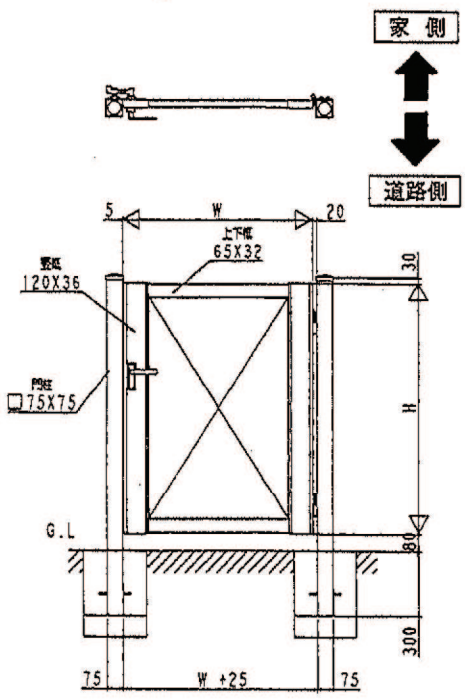
工具

- スケール、水平器
- スコップ、つるはし
- カッターナイフ
- 充電ドライバー、プラスドライバー
- 電気ドリル、キリ
- ボックスレンチ、スパナ
- 切断機、弓ノコ

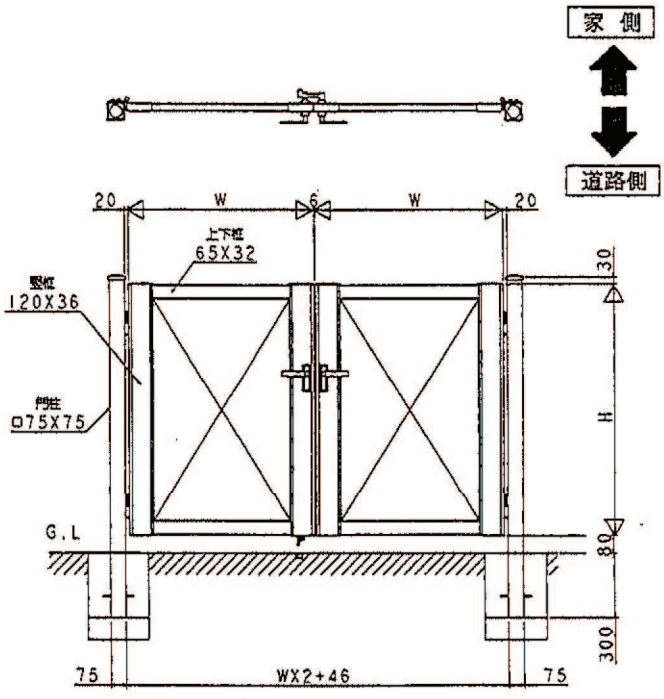
工具

- セメント
- 砂
- グリ石

基本寸法



片開き



両開き

W
400
600
700
800
900

H
1000
1200
1400

※注　W400は親子扉仕様の子扉扉寸法となります。

exterior_stok

組立上の注意事項

1 本製品の組立は組立説明書に従い、みだりに改造、変更はしないで下さい。

2 基礎は指定の大きさで必ずアンカー棒を取付けコンクリートで固定して下さい。
寒冷地では柱の凍結破損防止の為、基礎に近い場所にφ５水抜穴を開けて下さい。

3 基礎施工に海砂を使用しますと、アルミへの腐食原因になりますので、使用をさけるか、十分に水洗いしたものを使用下さい。

4 コンクリート（又はモルタル）に急結剤を絶対に使用しないで下さい。

5 ネジ、ボルト締め箇所は全て確実に締めた事を確認して下さい。

6 組立完了後、同添の取扱い説明書に必要事項を記入し、本書といっしょに施工主様へお渡し下さい。

梱包明細表

■扉セット

品名		員数
縦格子扉		1
横格子扉		
縦目隠し扉		
横目隠し扉		
クロス格子扉		
横目隠し（ガラリ風）扉	R	
	L	

■門柱セット

品名	両開き（片開き）
門柱	2（1）
門柱（片開き用）	（1）

■戸当りセット

品名	両開き	片開き	
		内開き	外開き
戸当り	1	1	1

■門扉錠セット

品名	両開き（片開き）
門扉錠シリンダー付	1（1）

■部品箱

品名	標準（内開き）		外開き	
	両開き	片開き	両開き	片開き
調整材	8	4	8	4
持ち送り	4	2	—	—
外開き用持ち送り	—	—	4	2
ヒンジ	4	2	4	2
落し棒フック	1	—	1	—
部品セット①	1	1	1	1
部品セット②	1	1	1	1
部品セット③	1	1	1	1

■部品セット①

品名	両開き	片開き
ヒンジ取付裏板	4	2
落し棒	1	—
つぼ受け	1	—

■部品セット②

品名	両開き	片開き
門柱キャップ	2	2

■部品セット③

品名	両開き	片開き
ヒンジ棒	4	2
ヒンジキャップ	4	2
落し棒キャップ	1	—
門扉錠クッション	1	1
M６X14十字穴付ボルト Wセムス	8	4
M８X25ボルト Wセムス	8	4
φ４X10ナベ小ネジ	2	—
φ４X12皿タッピング２種	4	4
φ４X13皿テクスビス	4	4
φ８X150アンカー棒	2	2
組立説明書・取扱説明書	各１	各１

exterior_stok

梱包組合せ表

両開き（片開き）

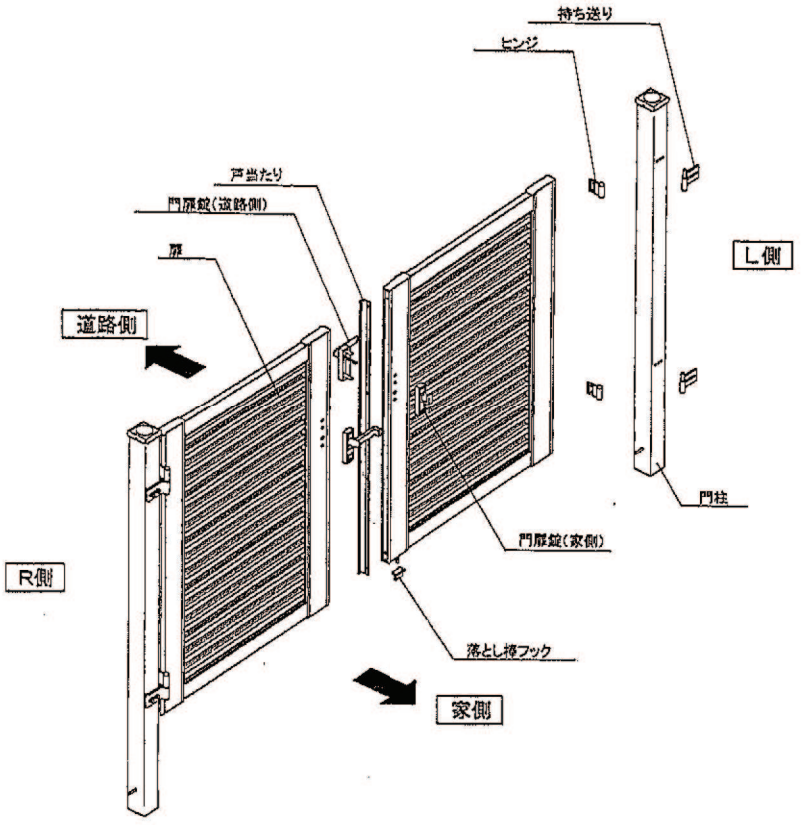
名称	H	W	1000					1200					1400			
			400+800	600	700	800	900	400+800	600	700	800	900	600	700	800	900
各扉セット（※1）	1000	400+800	2													
		600		2(1)												
		700			2(1)											
		800				2(1)										
		900					2(1)									
	1200	400+800						2								
		600							2(1)							
		700								2(1)						
		800									2(1)					
		900										2(1)				
	1400	600											2(1)			
		700												2(1)		
		800													2(1)	
		900														2(1)
門柱セット	1000		1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)									
	1200							1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)				
	1400												1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
部品箱（※2）	両開き(片開き用)		1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
門扉錠	両開き(片開き用)		1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
合計梱包数			5	5(4)	5(4)	5(4)	5(4)	5	5(4)	5(4)	5(4)	5(4)	5(4)	5(4)	5(4)	5(4)

（※1）扉セット中、横目隠し（ガラリ風）扉はR／Lが有ります。両開きの場合はR／L各1、片開き（右吊元）はR、片開き（左吊元）はLを使用下さい。

（※2）部品箱は内開き｛両開き、片開き（右吊元、左吊元）｝、外開き｛両開き、片開き（右吊元、左吊元）｝の6種類あります。

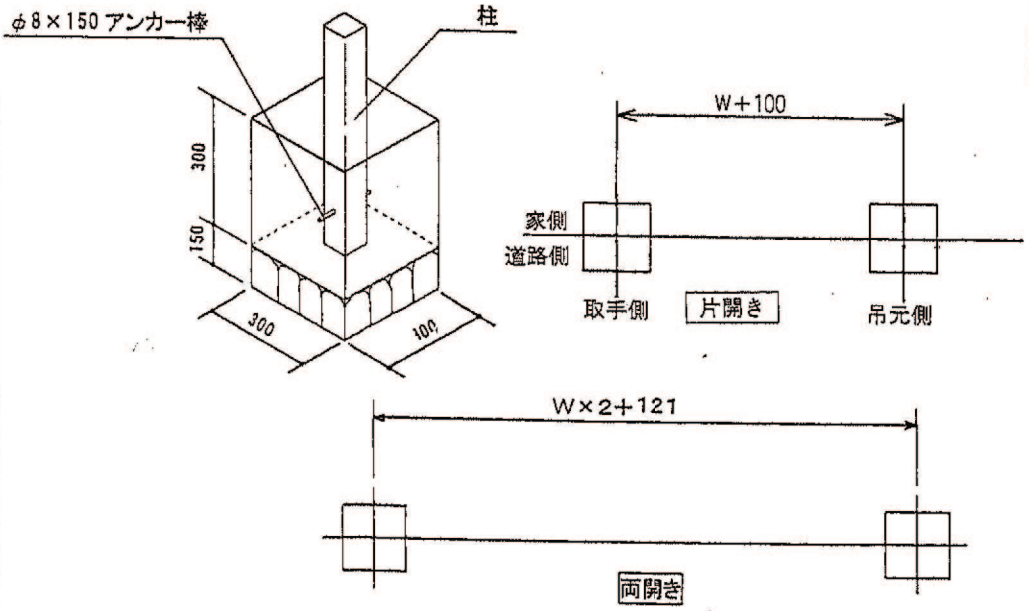
※注　親子仕様は（W400＋800）、H1000、H1200が標準となります。

各部名称



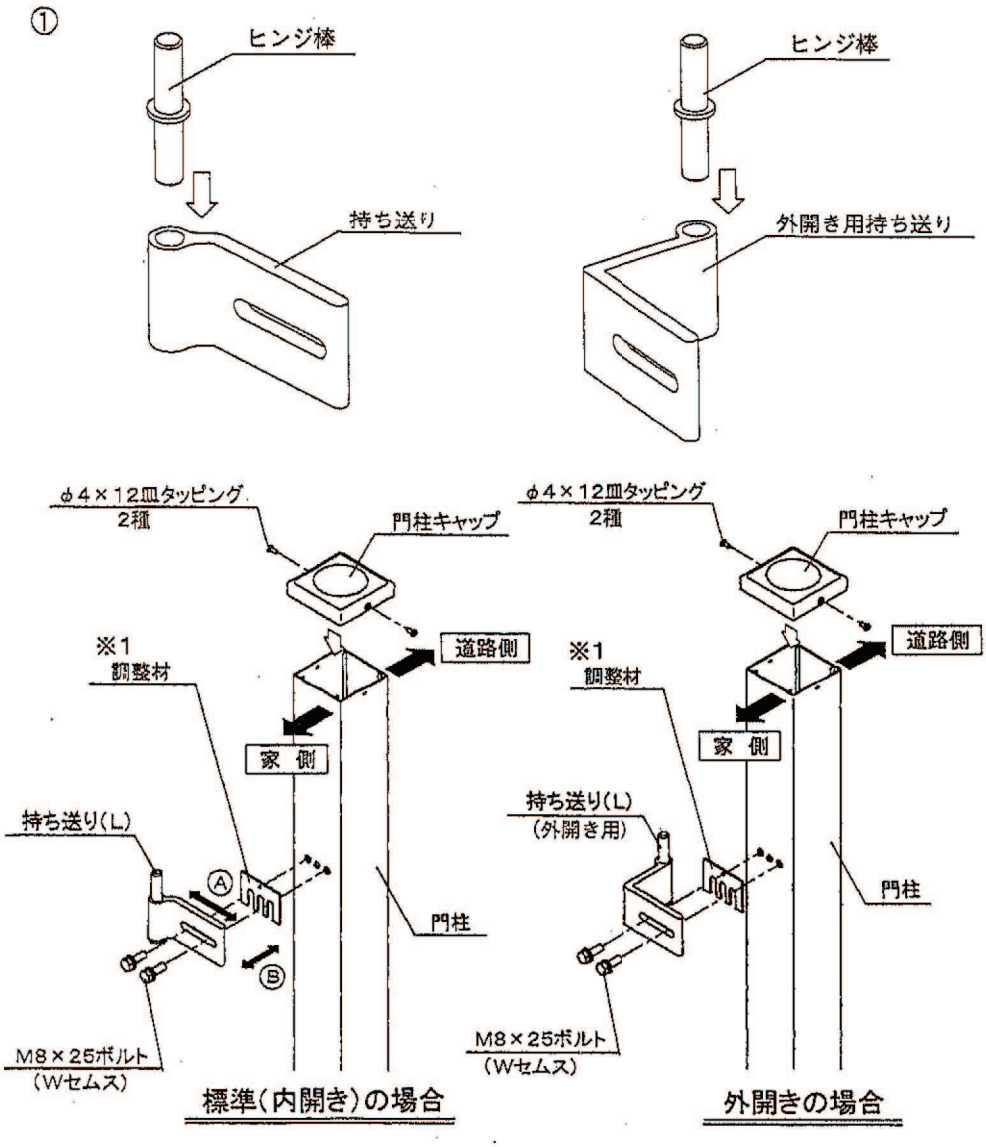
exterior_stok

1. 基礎の施工



①基本寸法図に従い門柱を埋め込んで下さい。
(注意)
- 地盤が軟弱な場合は、基礎の大きさ等を考慮して下さい。
- 柱基礎には必ずぐり石を敷き、十分に突きかためて下さい。
- 柱の水平、垂直、平行を扉取付後の調整範囲内にて施工して下さい。
(調整範囲については「7. 扉の吊り込み」を参照して下さい。)

2. ヒンジ金具の取付



Ⓐ調整幅 0～15mm Ⓑ調整幅 0～4mm

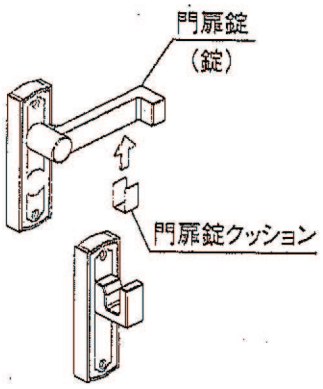
①持ち送りにヒンジ棒を取り付けて下さい。
②持ち送りを門柱にボルトにて仮止めして下さい。
(注意)
- 施工後、調整幅の範囲内で調整を行った後、確実に締めつけて下さい。

③門柱キャップを取付けて下さい。
(注意)
- 調整材は基本的に使用しません。納まりの調整時のみに使用して下さい。※1
- 図の柱は道路側から見て左側となります。
- 吊元を逆にして取付ける場合、図中持ち送りをひっくり返して取付けて下さい。

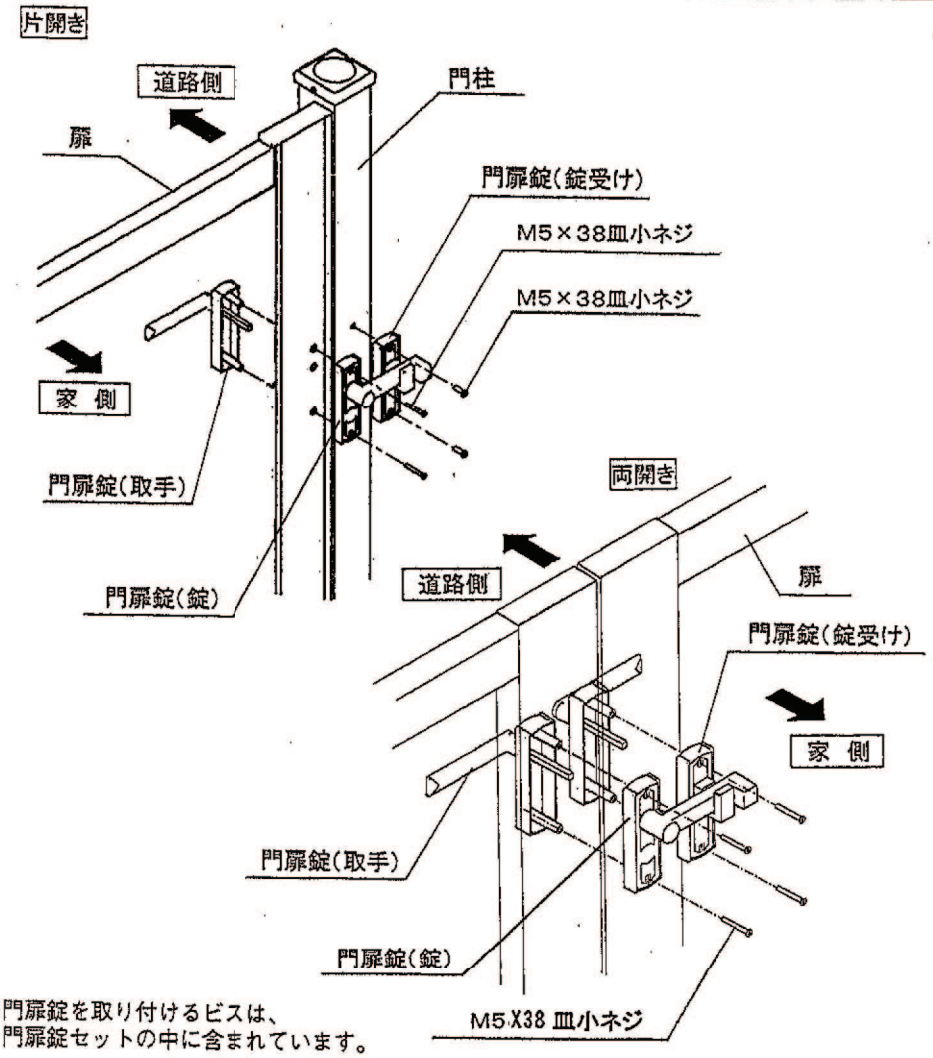
exterior_stok

3. 門扉錠の取付

①門扉錠を取付けて下さい。
片開きの場合は、錠受けを柱に取り付けて下さい。
②門扉錠クッションを錠受けと錠が重なる部分へ貼り付けて下さい。
（注意）
● 図Ａを参考に門扉錠クッションを貼り付けて余る部分ははさみ等で切って下さい。



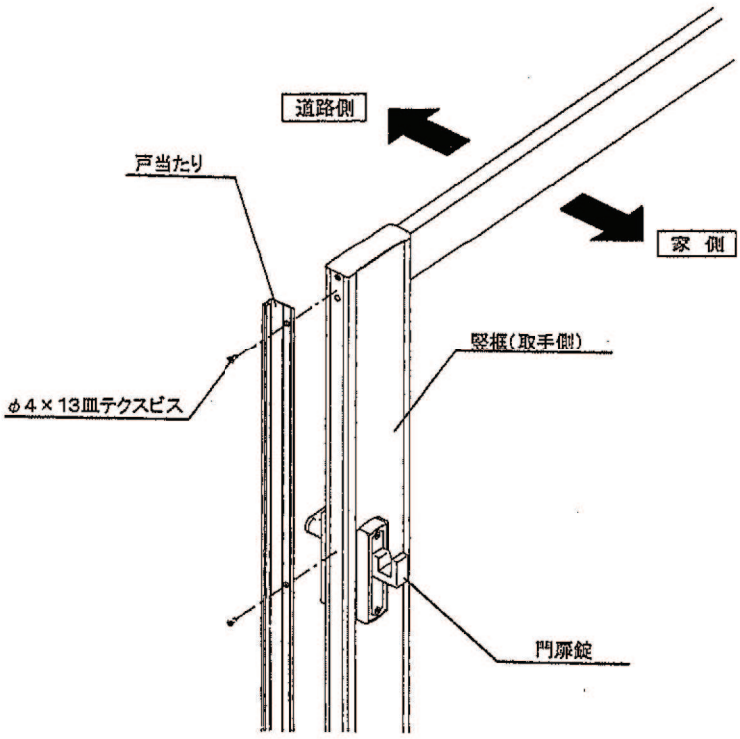
図A



※門扉錠を取り付けるビスは、
門扉錠セットの中に含まれています。

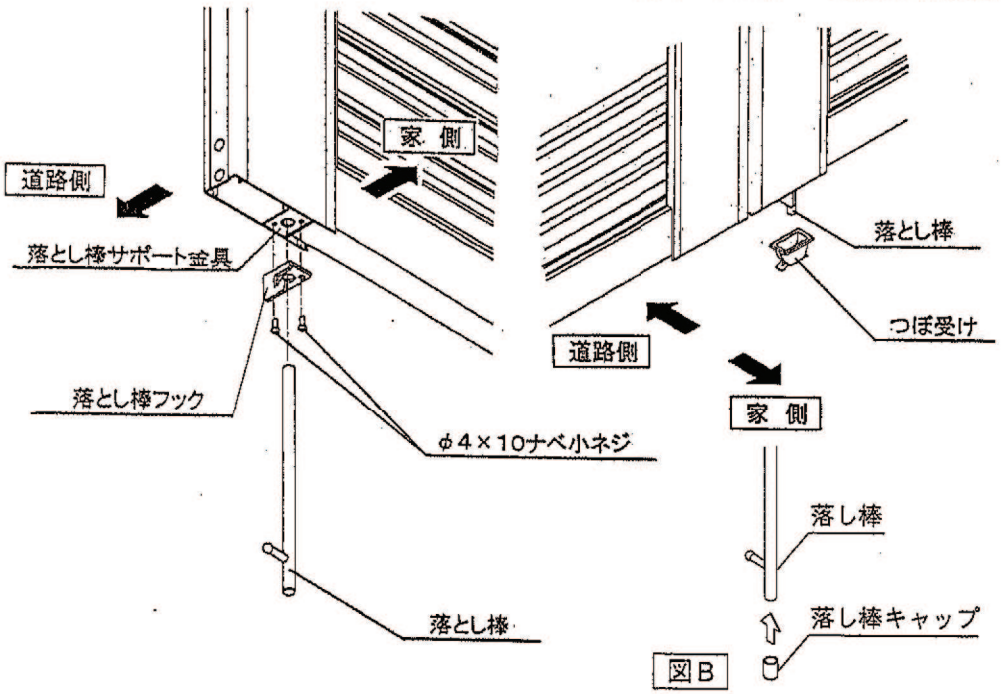
4. 戸当りの取付

①戸当りを取付ける側の穴隠しキャップを外して下さい。
（4か所）
②戸当りをビスにて図の様に取付けて下さい。
（注意）
● 戸当りは固定する扉の方に取付けてください。
● 片開きの場合は門柱に取付けて下さい。



exterior_stok

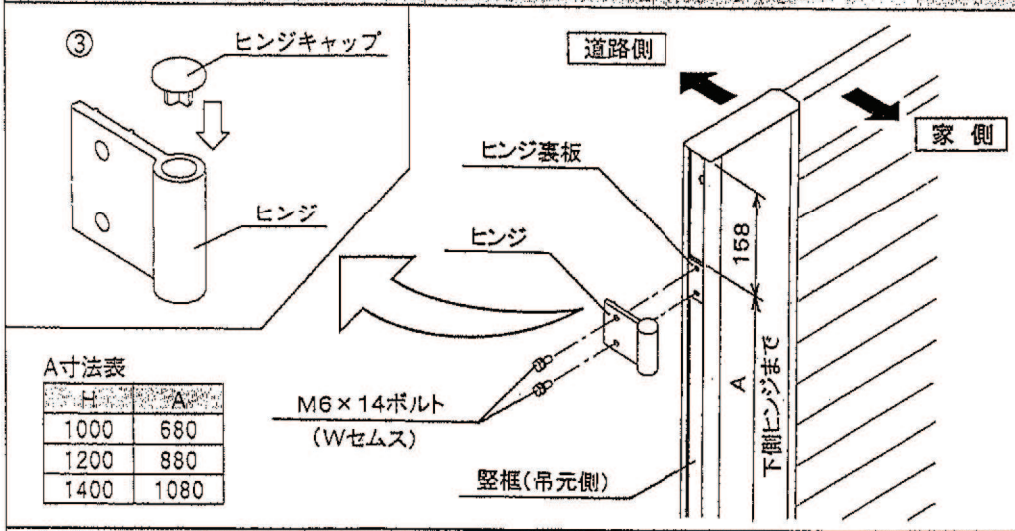
5. 落し棒の取付



図B

①落し棒フックをビスにて固定した後、落し棒をセットして下さい。
（注意）
● 落し棒は両開きのみ標準装備となります。
②落し棒の先端に落し棒キャップを取り付けて下さい。
（図B）

6. ヒンジの取付

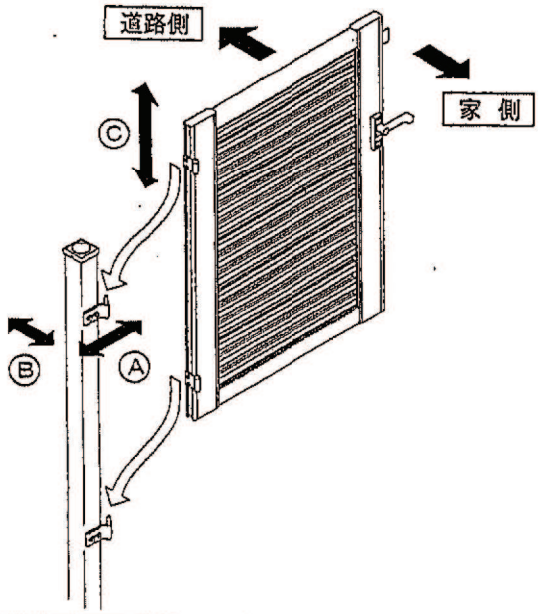


A寸法表

H	A
1000	680
1200	880
1400	1080

①ヒンジ裏板を吊元側のタテ框に各２枚ずつ差し込んで下さい。
②ヒンジを図の寸法表に従いボルトにて取付けて下さい
③ヒンジキャップを取付けて下さい。
（注意）
● 外開きにする場合はヒンジをひっくり返して取付けます。

7. 扉の吊り込み

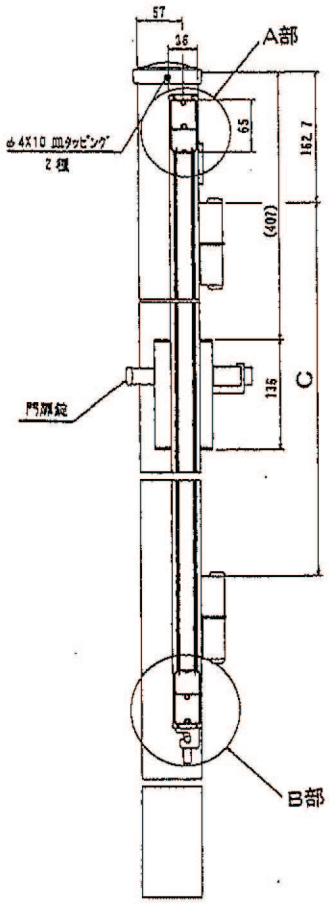


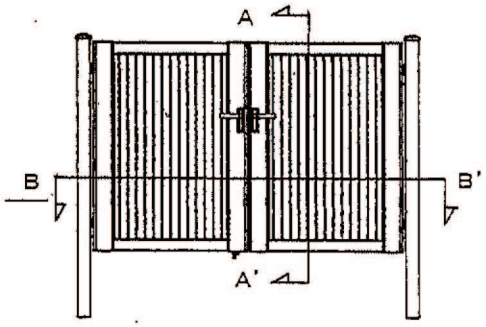
①図のように扉を取付けて下さい。
（調整範囲）
Ⓐ左右調整幅0～15㎜ヒンジ金具で行って下さい。
Ⓑ前後調整幅0～4㎜調整材で行って下さい。
Ⓒ上下調整、竪框(吊元側)の溝で行って下さい。

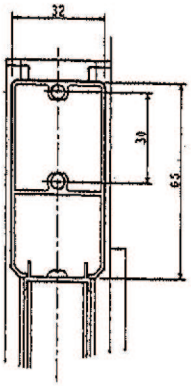
exterior_stok

詳細図

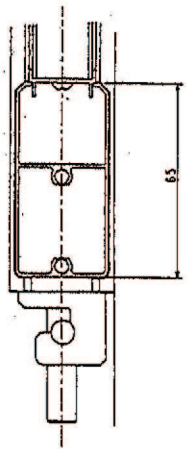
A－A'断面







A部詳細

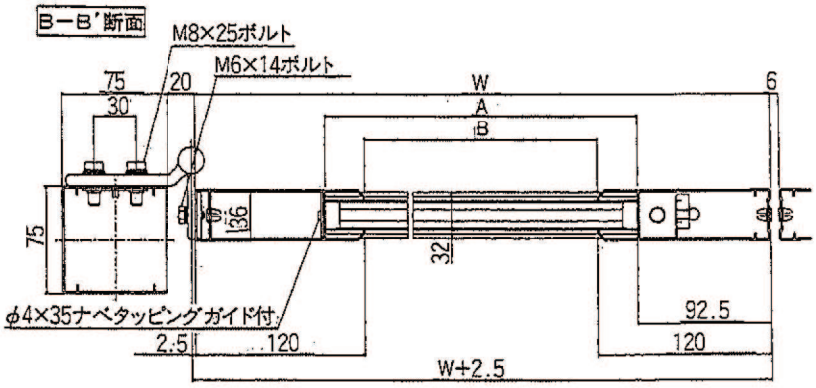


B部詳細

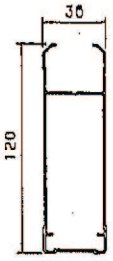
H	A	B
400	215	160
600	415	360
700	515	460
800	615	560
900	715	660

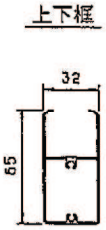
H	C
1000	680
1200	880
1400	1080

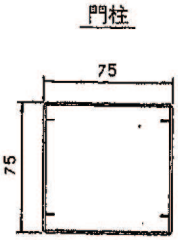
B－B'断面

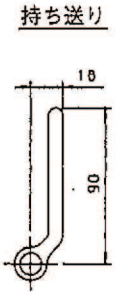


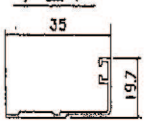
形材表

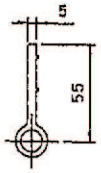


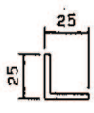


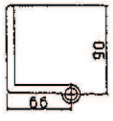












exterior_stok